



あさひ15号

2019年(令和1年)

10月17日発行

福山市立旭小学校長

池田 恭子

教育長学校訪問より 10/16

- 導入に工夫があり，子どもたちの興味を引き付けている。
- 条件を示したうえで，子どもに任せている。
- 「授業」をどうつくるか
- わからないことが「わからない」と言える授業
- 学校生活の大半は日々の授業
- 行事での成功体験や学級づくりだけでは足りない。
- 子どもの思いを聞いているようで，実は教師の思う方向に引っ張っていかうとしていないか。
- 子どもの可能性を閉じ込めていないか。
- 子どもが自ら考えようとする環境とは？
- 準備物があるほどいいとは言えない。
- 準備をすると，それを全部使おうと想定した流れに持っていかうとする。
- 教科書にあるものをあえて拡大コピーする必要があるか
- 貼り物が多すぎて，集中できないこともある。
- 教科書とチョーク（必要な時にはICT）があれば授業はできる。

※教材の見直し・・・保護者負担の軽減

- 本当に必要なものだけをそろえる
- ノートとワークの両方が必要か
- 見直すことが業務改善にもつながる

※勤務時間の管理

- 質を上げて量を減らす
- 教育課程の見直し
- バランスやつながりを考える

本校の目指す資質・能力

課題発見・解決力 コミュニケーション力 やりぬく力 思いやり